

各 位

会 社 名 株式会社 きょくとう
 代表者名 代表取締役社長 牧平 年廣
 (コード：2300)
 問合せ先 経 理 部 長 川崎 昌之
 (TEL. 092-503-0050)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年3月18日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年4月12日の平成25年2月期決算発表時に開示した平成26年2月期（平成25年3月1日～平成26年2月28日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,100	431	470	245	44.32
今回修正予想（B）	7,080	66	143	72	12.99
増 減 額（B－A）	△20	△365	△327	△173	—
増 減 率（％）	△0.3	△84.7	△69.6	△70.6	—
（参考）前期実績 （平成25年2月期）	6,741	203	266	113	20.52

2. 修正の理由

景気は、金融緩和や各種経済対策の効果により、株価の上昇と為替相場が円安で推移したことから、企業収益が改善を続けております。

このような状況の中で当社は、平成25年2月28日付で事業の一部譲受けにより取得した神戸工場（神戸市西区）を神戸地区として3月1日より営業を開始し、4月1日には西足立プラント（東京都足立区）を事業の一部譲受けで取得し、営業を開始しました。加えて、広島工場（広島市西区）の生産の効率化を図るため3月23日に東雲プラント（広島市南区）、12月18日に中広工場（広島市西区）を新たに開設し、広島工場を移管しました。

以上の通り、積極的な投資活動と営業活動を推進して需要の拡大に努めてまいりましたが、当初の予想を下回る見込みとなりました。

平成26年2月期通期業績予想につきましては、売上高が、猛暑の夏から引き続き全国的な異常気象となり、秋の繁忙期の需要が例年になく落ち込みとなったことから、当初予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、主に事業の一部譲受けに伴う費用や新規出店と新規プラントの開設に伴う費用の増加、原油価格の高騰と為替相場が円安で推移している影響を受けてエネルギーコストが増加したことから、当初予想を下回る見込みであります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上